

PassLogic ent-6.1.0 リリースノート(2025/9/25)

【新規機能】

PassLogicの認証方式として顔認証が追加され、PassLogic認証、PassLogicAuthenticator、ハードウェアトークンと組み合わせて利用できるようになりました。Web顔認証（NECのBio-IDiom顔登録WebサービスWeb顔認証機能）（※注1）との連携により実現しています。
顔認証を利用するには、別途有償の顔認証サービスへの申し込みが必要です。

【機能の拡張・改善】

ユーザー名入力画面において、ドメイン選択プルダウンのリストの表示順が設定できるようになりました。それに伴い、特定のドメインを初期値として表示させることが可能になりました。
ただし、LDAP認証連携ドメインまたはLDAP ID同期ドメインに限ります。
また、ドメイン選択ドロップダウンリストを非表示設定している場合は適用されません。

- PassLogicのユーザー向け画面において、全般的にリニューアルし、操作性や利便性を高めました。
 - ユーザーログイン後のポータル画面において、従来はSSO連携先のアプリケーションへのリンクがリスト表示されていましたが、アイコン表示になりました。また、アイコンのグルーピングを管理者が任意に設定できるようになりました。
 - ポータル画面のパスワード変更やログアウトなどのボタンの配置を改善しました。
 - ユーザーID入力画面にADパスワードの再入力カトルボタンが追加され、PassLogicに保存されたADパスワードを再入力する際の手順が分かりやすくなりました。LDAP認証連携ドメインのユーザーで、ADパスワードを保存するポリシーが適用されている場合に表示されます。
 - パスワード入力画面のソフトウェアキーボードの削除ボタン表示を「del」から「×」に変更しました。

【名称変更・仕様変更】

- 2024年9月24日の「PassClipL」アプリの名称変更に伴い、画面上の表示、ログ等のメッセージ、メールテンプレート上の名称などを「PassLogicAuthenticator」に変更しました。
- 画面やログメッセージ、メールテンプレートなどに頻出している一般的な用語を統一/改善しました。
- 「ユーザ」→「ユーザー」、「サーバ」→「サーバー」、「ログオン」→「ログイン」に統一しました。
- PassLogic for Windows Desktop Ver.3.2.0に対応しました。
PassLogic側で行った名称/用語の変更は、PassLogic for Windows Desktop Ver.3.2.0においても、同様に修正しました。

【不具合修正】

PassLogic エンタープライズ版 Ver.6.0.7までのリビジョンアップによる修正を反映しました。

【セキュリティ更新】

- FreeRADIUSのBlast-RADIUS（CVE-2024-3596）脆弱性の対策として、PassLogicインストール時のRADIUS設定ファイルの値を適切な設定（※注2）にしました。
- データベース関連コンポーネントを以下のとおりバージョンアップしました。
 - PostgreSQL 14.11から15.12
 - Pgpool-II 4.3.7から4.4.11

バージョンアップに伴い、Pgpool-IIの以下のログメッセージの一部（先頭の1字）が変更されています。
（更新前）starting degeneration. shutdown host
（更新後）Starting degeneration. shutdown host
これまでのバージョンにおいて、/var/log/passlogic-pgpool/pgpool.log の上記メッセージでフェイルオーバー監視をしている場合、監視の検索条件を修正する必要があるため、ご注意ください。

（※注1）Bio-IDiomは、日本電気株式会社の登録商標です。

（※注2）2025年2月20日付文書「[RADIUSのMessage-Authenticator属性について](#)」でご案内した件への対処です。